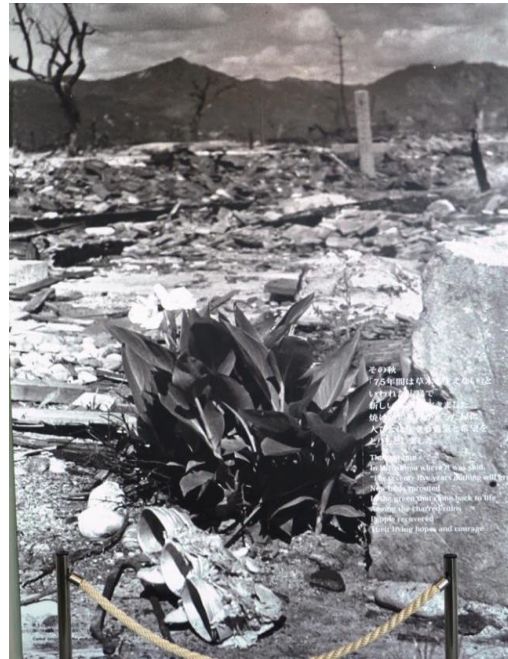


須坂のカンナが広島・長崎で咲いています

広島に原爆が投下された後、「今後75年間は草木が生えない」と言われましたが、メセナホールには、原爆投下から約1か月後に、廃虚に咲いたカンナの花の写真が展示されています。

(写真:カンナ・プロジェクトより市に寄贈されたパネル)

この写真に感激した、マナー講師の「橋 凜保(りほ)」さんは、核廃絶、平和を願ってカンナの花を平和のシンボル(平和を象徴する花・希望の花)として、カンナの球根を植える活動である「カンナ・プロジェクト」を子どもたちと一緒に取り組んでいます。



橋さんは、日本各地を訪れ、カンナの花を通して、子どもたちに原爆を伝え、希望を持つことの意味、そして平和を祈り、カンナの花言葉の「堅実な未来」を残す活動をしています。

この「カンナ・プロジェクト」の実施にあたり、寒さに弱いカンナ球根の越冬対策を橋さんに助言し、2007年、多数の球根を提供したのが長野県須坂市に住む方でした。

これ以降毎年、須坂市のカンナ球根を差し上げ、現在、広島、長崎をはじめ日本各地、世界各国で須坂市から株分けされたカンナが花を咲かせています。



旧広島記念資料館に展示されていた「焦土に咲いたカンナの花」(縦2.7m×横1.6m)の白黒写真パネル

多くの人の命が犠牲となってしまった土地で、新しい命が芽生え、人びとが「生きる勇気と希望」を取りもどしたこの写真を平和学習として見て、感じてほしいと願っています。奇跡と思える写真が次世代に平和へのメッセージを伝えています。今後も平和への誓いを後世に受け継いでほしいです。

長野県須坂市 花と緑のまちづくり事業 マスコットキャラクター 「**かなちゃん**」



橘 凜保(りほ)さんの取組まれている「カナ・プロジェクト」のキャラクターが、「かなちゃん」です。

長野県須坂市では、1995年から「花と緑のまちづくり事業」を取組んでおり、20周年の記念事業として橘さんの協力のもと、マスコット「かなちゃん」を製作しました。

【かなちゃんプロフィール】

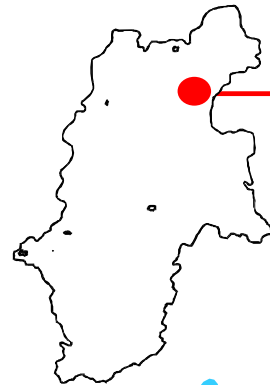
かなちゃんは、赤いカナナの花の妖精です。
「世界中の人の心に希望と平和の花を咲かせましょう」をキャッチフレーズに信州蔵の町須坂から今日も特技の「かなスマイル」でみんなを応援しています。

長野県須坂市内には、各種団体がボランティアで整備している花壇・フラワーロードがいたるところにあり、きれいな花を咲かせています。

特にひときわ目立つのが、背の高い赤いカナナの花で、毎年、市民や県内・県外からの来訪者の目を楽しませてくれています。



平和親善大使
かなちゃん



須坂市